

平成25年度

第2回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

上流域版(八幡市・大山崎町・島本町域)平成26年2月20日開催分

■開催概要

開催日時:平成26年2月20日(木) 11:00~12:00

場 所:上流域流域センター

議事次第

配布資料(一覧)

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 淀川河川公園上流域地域協議会設置要綱の承認
・委員任期の延長(H28.3.31 まで)
4. 議 事
 - (1) 平成25年9月水害による淀川河川公園の被災と復旧の状況について
 - (2) 背割堤地区の整備の進捗状況
 - (3) 大山崎地区、御幸橋野草地区の今後の整備について
 - (4) その他の話題提供
5. 今後の予定
6. 閉 会

■説明資料

- ・資料-1 大山崎地区の再整備の考え方
- ・資料-2 御幸橋野草地区(仮称)の整備の考え方
- ・資料-3 淀川上流域の河川公園の位置関係

■参考資料

- ・参考資料-1 御幸橋野草地区の整備の条件
(第1回上流域地域協議会資料4)
- ・参考資料-2 平成25年度第1回上流域地域協議会会議録

1. 平成25年9月水害による淀川河川公園の被災と復旧の状況について

・公園管理者より、昨年発生した水害の被害状況、復旧状況及び地域協議会開催への影響について説明があった。

2. 背割堤地区の整備の進捗状況について

・事務局より、スクリーンにて説明があった。

[公園管理者]

- ・現在、背割堤地区では入り口部分の工事と、船着き場をつくる工事を行っている。桜の時期に花見船や七夕の時期に七夕船を民間事業者に運航してもらっているが、常設の船着き場を今年度末をめどに整備している。
- ・また、これまで背割堤地区の入り口は車も歩行者も同じ道を歩いていたが、危ないので駐車場に降りる車道と歩道を分離する工事も進めている。今年の3月末の桜まつりに間に合うように進めている。
- ・サービスセンターの件は、来年度に建物の実施設計に入っていくことで進めている。来年度の地域協議会ではパー



スなどをお見せできるような段階になると思う。

・桜まつりは公園側としてもアピールが足りないと思っており、もっと多くの方に見てもらえるようにしたい。

【地域住民代表】

・全国で一番距離が長いのではないかな。

【学識者委員】

・船着き場は、常設で使えるような船の航行とか仕組みも一緒にできているのか。

【公園管理者】

・花見船は純粋に民間の事業者でやっている。今後は昔の伏見から大阪までの観光舟運を日常的に運行できるような形になってくれたらありがたい。

【利用者代表】

・河川公園のハード面でもソフト面のことで、季節を分散した利用が進むように考えていけたらよい。

【公園管理者】

・春、夏、秋は水位の変動が激しいので、雨が降ると船を運航しようとしても水が多くて運航できないことが民間事業者としてはリスクになる。秋、冬は水位が安定しているので、その点ではやりやすい時期である。

・渡し船の歴史もあり、地域の歴史や自然を見直す機会にもなるので、子供の教育の面でも公園を使っただけのようにしていきたい。

【学識者委員】

・ほかにも船着き場ができていない箇所があるのか。

【公園管理者】

・枚方市、高槻市から下流は少なくとも自治体に1つずつ整備をします。基本は防災用ですが地域振興等の目的で利用することもできる。背割堤の船着き場は公園施設の一環なので利用しやすいと思う。

【地域住民代表】

・料金を取ったら許可が要るのではないかな。

【公園管理者】

・川を航行するだけなら有料でも許可は要らないが、営業となると船の安全性などの許可は要る。また、勝手に係留したり栈橋をつくってはだめというはある。

3. 大山崎地区、御幸橋野草地区の今後の整備について

・事務局より、資料説明があった。

【地域住民代表】

・公園のゲートが開く前に、バーベキュー目的の車がずらっと並んで、竹をとりに行けないという苦情がある。

【公園管理者】

・管理している者に確認をする。

【行政】

・桂川河川敷公園は火気厳禁である。シーズン中はバーベキュー利用の問い合わせも多く国営公園を紹介させていただいている。大山崎地区の区域拡大箇所はそのような状況もあってバーベキュー広場ということも考えられるが、この場所は国営公園の駐車場からも遠く難しい面もある。又隣接する桂川河川敷公園の駐車場は土曜、日曜は利用者が多く満杯な状況である。

・川と親しむ自然環境啓発に重点を置いた河川利用ができないか。小泉川には魚道も整備されており、安全面の配慮は必要だが、川に親しめるようなアクセスができればよい。

【地域住民代表】

・御幸橋野草地区は、枚方みたいに親子が遊んだり、サッカーができるようにしてほしい。車が常時通っていて見通しがよいので、子供だけで遊ばせておいても安全である。

【利用者代表】

・大山崎地区、御幸橋野草地区ともに樹木は伐採をしたほうがよいので、公園では水辺の草地、草原をつくってはどうか。例えばカヤネズミは草地をすみかとし、河川敷やヨシ原にも巣をつくる。

・草原の維持管理で生き物をたくさん残そうと思えば、繁殖時期の草刈りを減らすとか、堤防の天端に近い上半分を刈り残して下だけ除草するなどの方法がある。水辺に親子で親しんだり、秋に鳴く虫の声を水辺の散歩で夕方に聞くとか、人が河川に対してこうだったらいいな、こう遊べたらいいなというためには、まずは生き物が豊かに暮らすというベースの上でないと人間も暮らせない。そのような意味合いで草地の管理を考えていくべきである。

【行政】

- ・大山崎地区については、大山崎の市街地には広場がとれないため、地域のニーズや周辺の要望を踏まえてこの区域をどうしていくかを考えていただきたい。
- ・鴨川公園は多くの利用があり、特に草地管理には費用がかかっている。草刈を行えば、自然環境の観点で怒られ、逆に切らなければ、アレルギーなどの観点から早く切るように要望がある。人に利用してもらった草地をつくるというのは難しい。御幸橋野草地区については治水安全上の支障がない範囲で自然も大事にし、利用してもらったところを限定することも必要と思う。
- ・木津川は主に砂地なので、川の利用については木津川の右岸でもよいのではないかな。

【地域住民代表】

- ・八幡市にはジョギングしたりできるようなところがない。

【学識経験者】

- ・今回30年に1度という大洪水が起こった。河川公園の整備の方法を長期、中期、短期と分けて見ていかないといけない。自然を生物学的なスパンで考えるのか地学的なスパンで考えるのか。
- ・河川敷は30年40年のスパンで流路が変わるかもしれないし、その中で植生も遷移していく。河畔林は野鳥のすみかになり生物多様性に役立つのはよくわかるが40年前はここは砂浜だった。果たしてこの河畔林を本来どうすべきかということを決める必要がある。河畔林を無くすのが望ましいのか、公園利用の範囲内で植栽として一定量を認める部分があるとすればその線引きをする必要がある。

【行政】

- ・どういう段階で自然を残していくのかというのは試行錯誤しながらやっていくしかない。
- ・この管理としては、例えば50メートル角のところについては昆虫を残すために草は刈らないなど、ゾーン分けをしているいろいろな需要に応じていく必要がある。散策ルートも、例えば幅が2メートルの園路なら、両端5メートルは刈った区域として残し、もう少し入り込めるところはだんだん高くしていくなどの管理が必要がある。

【学識経験者】

- ・一旦全部伐採し、最初は地質学の自然観察調査をして、草本が生えてきたら今度は草と昆虫の自然観察をやり、樹林が育ってきたら今度は鳥類とか遷移の状況を観察するのはどうか。
- ・自然環境を守ることを教えようと思えば、植物園のような自然を提供するだけでなく、ここは遷移するんだ、変化するんだというのをわかりやすく示すという考え方もある。

【行政】

- ・毎年水につかるような部分を一定幅つくり、その少し上に例えば3年から5年に1回浸かる区域を定めるなど、これだけ幅があるのでいるんなことができると思う。

【行政】

- ・御幸橋野草地区につきましては、まず(治水)機能の確保をお願いしたい。一定の自然を残しながら共存の形にすると結局は中途半端になる。方向性を持った整備をしないと、後々またその議論がずっと続くのではないかな。今は確かに木も生えているが、後づけと言うか、自然に振り回されるのは非常にづらい。

【行政】

- ・背割堤で船着き場を整備しているが、島本地区のほうもイベントのときだけではなく、常時の船着き場を整備いただきたい。

【学識者委員】ありがとうございます。

- ・自然も変化するし利用者も変化する。少子高齢、人口減少などの社会的な変化も見据えながら、非常に長い時間の変化と人間の生活をどうふうに変化させていくか、長期的なことも考えていかないといけない。また、今までと違った災害が起こってきていて、そのような変化にどう対応していくのか。いろんな変化に柔軟に対応できる計画や設計にしていかなければいけないということが大きな変化点ではないかな。

4. その他の話題提供

【公園管理者】

- ・島本地区下流側の水無瀬ゴルフ場が営業を終了し国に土地が返還されることになった。ゴルフ場の範囲は概ね淀川河川公園の都市計画決定区域であり、また公園基本計画では水辺まで含めて公園として検討することになっている。一方、三川が合流する場所でもあるので治水や河川環境の整備も考えられる。現在のところは4月1日以降の管理をどうするかが一番大きな課題である。

【地域住民代表】

- ・三川合流してるが、大雨のときはどの川の流れる速いかにによって一方は流れない。

【学識経験者】

- ・三川合流部は、桂川、鴨川、京都市内の市街地を流れる川の安全確保上も非常に重要である。水理上とても難しいポイントなので、まず治水第一で考えていただきたい。

【公園管理者】

- ・河川サイドのほうで検証した上で、切り下げがいいのか、木を切るだけにしてワンド等の整備にするのかをこれから検討していく。

- ・枚方から上流は大きい船が通れる水深がないので航路がまだない。高槻、枚方より上流側にも船着き場が要するという問題意識はあるが、まだ具体的な場所の検討までは至っていない。
- ・社会実験等はやっていきたいので、渡し船について町を挙げてご関心があり、ご協力もいただいている自治体と連携して何かできるのではないかと考えている。背割堤にも船着き場ができるので、船の連携も考えていきたい。

【地域住民代表】

- ・島本側の背割堤の先端部の水無瀬川が突き当たったぐらいの場所は半分崩れている。

【公園管理者】

- ・河川部門に確認をする。

【行政】

- ・ゴルフ場跡地は今後雑草が生えてきたり防犯面の問題が出てくると思うので、早急に対応をご検討いただきたい。船着き場もゴルフ場廃止にあわせて新しい計画の中で練り直ししていただきたい。

【学識者委員】

- ・位置関係を見ると、三川合流の特徴をうまく生かせば、中流域や下流域とはもつと違う可能性もできる、ゴルフ場の件は全体をもう一度考え直すチャンスだと思う。

5. 今後の予定

【公園管理者】

- ・今後の予定としては、来年度の初夏あたりに1回目を開催し、大山崎、御幸橋野草地区について、また、水無瀬の話が出せるのであれば、その辺の話も進めていただきたい。

[お問い合わせ先]

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkk.mlit.go.jp

当日配布した資料などは、下記 Web サイトにて、公表しています。詳細は、Web サイトを参照願います。



http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/park_kyoudi/index.html

2014年3月発行

第8号

平成25年度

第2回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

上流域版(八幡市・大山崎町・島本町域)平成26年2月20日開催分